

小中一貫校(義務教育学校)―「魅力ある学校づくり」というけれど

むちゃくちゃせまい運動場！！

北校は、庄内小学校の敷地に校舎を建設し、隣接する第六中学校の敷地を運動場として使用する計画です。

しかし、同時に、六中敷地内北側約 5000 m²を使って南部コラボセンターの建設が計画されています。

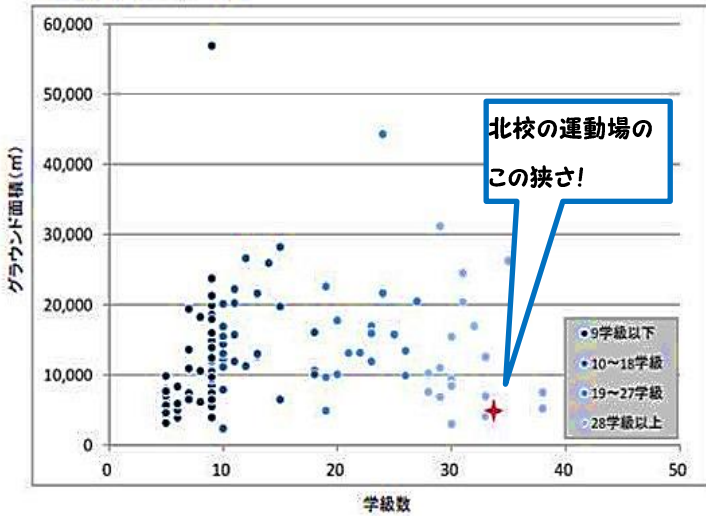
運動場の面積は約 8000 m²です（市教育委員会発表）。運動場は 12000 m²（※1）必要です。

基準の 3 分の 2 程度の広さしかありません。

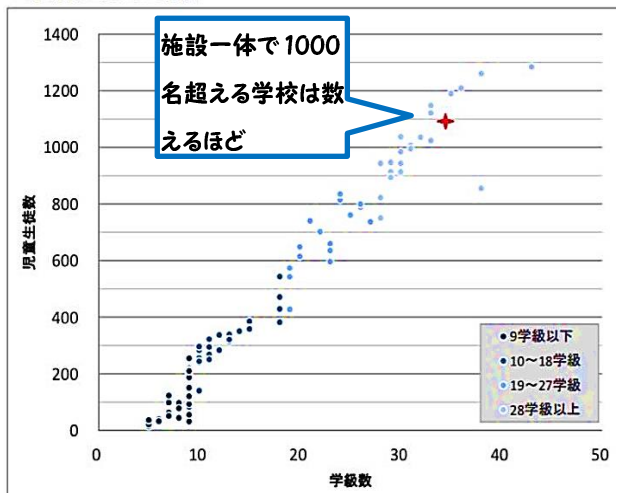


※1（義務教育学校等の施設国庫負担の法律による）

■学級数とグラウンド面積



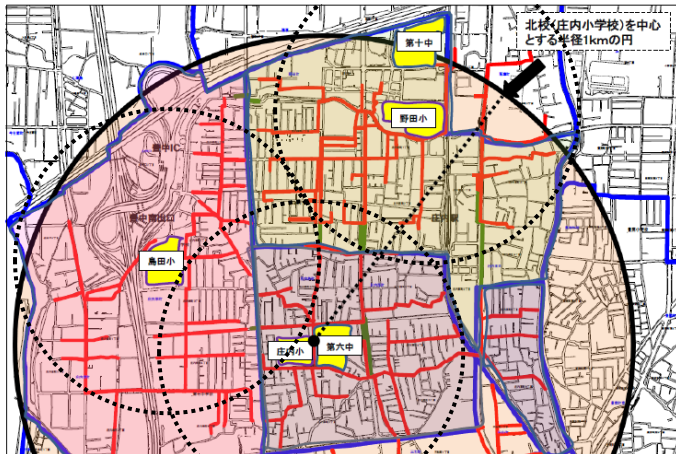
■学級数と児童生徒数



学校が遠くなる！！

心配がいっぱい！

庄内小、野田小、島田小の通学区域を合わせた範囲が「北校」の通学区域になります。きよりの遠さだけでなく、交通安全にも不安があります。



— 直線 1 km 範囲。通学距離 1 km を超える子どもがたくさんうまれます。

..... 半径 500m。現在は、ほぼこの範囲から通学。



低学年は 1.5 km の通学に 40～50 分かかります。

（日本都市計画学会報告論文による）

ゆきとどかなくなる！！

“マンモス校”だから・・・

1000 人を超えるマンモス校になることで、先生の数が減ります。今の小学校 3 校中学校 2 校の教職員数より 3 割減少します。子どもたち一人一人に目がゆきとどかなくなるのは明らかです。